

解説 一般質問とは…議員が町の施策の状況や方針などの説明を求めたり、提案や質問すること。

下野 義子 議員（公明党）

在宅医療・介護連携の
取り組みを問う



町長 連携を後押ししていきたい

各種取組を推進しよう

質問 「新たな地域医療構想等に関する検討会」では、全国の外来患者数は2025年にピークを迎え、在宅患者数は2040年以降にピークを迎えるの見込んでいる。市町村介護保険事業計画の作成に関する事項では、地域の医師会等の協力を得つつ、在宅医療・介護連携を計画的かつ効果的に推進することを求めている。ICTの活用や西多摩医師会の在宅医療安心サポート事業の活用など、町の在宅医療・介護連携の取り組みについて問う。

町長 町では在宅医療・介護連携推進検討会、介護連携推進センター、介護保険事業計画の作成に関する事項では、地域の医師会等の協力を得つつ、在宅医療・介護連携を計画的かつ効果的に推進することを求めている。ICTの活用や西多摩医師会の在宅医療安心サポート事業の活用など、町の在宅医療・介護連携の取り組みについて問う。



厚生労働省「在宅医療・介護連携推進事業の取組について」

質問 児童館は、子どもたちの遊び場と学習の場、仲間づくり、交流の場として児童の成長に欠くことのできない施設である。町には1カ所の児童館しかないため、常々難しいと考える。現在も、長期総合計画に基づき、児童館事業および移動児童館事業の拡充に取り組んでいる。今後もこの取組を推進していくとともに、児童館も含めた子どもたちの安全な居場所づくりや、世代間交流が可能な環境整備の進め方を引き続き研究していく。

町長 国と同様に町においても出生数は減少を続けており、今後の需要と費用対効果を考えると、新たに児童福祉施設の数を増やすことは非常に難しい。

町長 国と同様に町においても出生数は減少を続けており、今後の需要と費用対効果を考えると、新たに児童福祉施設の数を増やすことは非常に難しい。

大坪 国広 議員（日本共産党）

町の西側地域に新たな
児童館建設の検討を



町長 児童福祉施設を増やすことは非常に難しい



あすなろ児童館

こんな質問もありました
保育園の副食費一律無償化で保護者負担軽減を
町長 政策全体の優先順位や財源配分の観点から実施する予定はない。

浜崎 崇 議員（自民誠和会）

将来を見据えた支払手段の
多様化の推進について



町長 キャッシュレス決済導入の調査・研究を進めていく

質問 経済産業省では、将来的にキャッシュレス決済比率8割を目標に掲げている。キャッシュレスの推進の意義として、決済の変革が新たな未来を創造するとしている。他自治体では、キャッシュレス決済導入により支払時間短縮や人件費削減などの効果が報告されている。町では、電子決済導入を計画的に取り組み事項として掲げており、将来的な目標として窓口や施設予約などでの支払手段の多様化の推進について所見を伺う。

町長 町では、スマートフォンなどのアプリケーションなどを使った

町長 町では、スマートフォンなどのアプリケーションなどを使った



森 巨 議員（自民誠和会）

町の公共施設の維持・
長寿化・統廃合について



町長 施設の統廃合、機能移転などを研究していく



築約58年が経過した町民会館

質問 町の公共施設の維持・長寿化・統廃合について次の3点を伺う。

問① 公共施設個別施設計画では、町民会館のほか10カ所に点在する地区会館について統廃合を検討するところがあるが、ニーズ調査はどのように行うのか。

町長 計画では17年以内の町の公共施設の対象施設のうち、約10施設を削減するとしている。ニーズ調査では利用者、利用団体、会館管理者から意見を把握する予定である。

問② 公共施設等総合管理計画では、小・中学校の老朽化が進行している付属棟の改修が課題となっているが、今後の取り組みは。

町長 現在、体育館の空調設備の新設などに取り組んでいる。今後も、子どもたちがいる校舎を基本として躯体維持に努めていく。

問③ 将来人口、多摩都市モノレール延伸などをどのように捉え将来の施設の適正運営に臨むのか。

町長 人口と施設のバランスが図れるよう、各施設の課題を的確に把握し、施設の統廃合、機能移転など、さまざまな手法を研究しながら取り組んでいく。

スマートフォンなどのアプリケーションなどを使った



生成AIが作成したキャッシュレス決済のイメージ